

# 鮫川村立青生野小学校

五年

岡部 美重

▶体験学習（稲刈り）



「その名も高き阿武隈の、山ふところにはぐくまれ」と校歌の中に歌われているように、わたしたちの学校は阿武隈山系の南西部、標高六百三十メートルの所にあり、二つの国道（二百八十九号、三百四十九号）が走っています。

まわりは山に囲まれ、鹿角の原という広い牧場や、山頂から太平洋を望める朝日山があります。

わたしたちの学校の教育目標は、

- 一、あかるく、思いやりのある子ども
  - 二、おちついて よく考える子ども
  - 三、のぞみめざして やりぬく子ども
  - 四、からだをきたえ 元気な子ども
- 頭文字をとると「あおのからだ」になりわかりやすいので、一年生から六年生までよくおぼえています。

全校生は五十二名と少ないのですが、四つのたてわり班に分かれて、清掃や創意の時間の活動、各委員会、宿泊訓練（全校生参加）などいろいろな活動に取り組んでいます。班ごとに名前をつけ、班旗をつくります。班ごとに名前では班旗を先頭に入場行進をしたり、リレーをきそったり、班単位の活動がさかんです。

青生野小学校の特色は、このような土地の条件や環境を学習と結びつけて

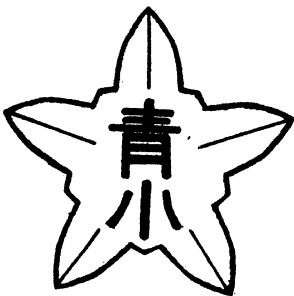
いることです。その一つに、スキーがあります。今年にはクラブ活動の時間にスキーを取り入れました。

学校から、上の校庭までの百二十メートルの坂道（白かばゲレンデ）を利用し、一月から三月まで何回もすべり足腰をきたえました。

五・六年生は体育の時間や放課後にもすべり、じょうずになりました。

二つめは、実習田での田植え、稲刈りです。勤労生産的体験学習として全校生でおこなっています。秋には、収穫した米でもちをつきます。自分たちの手で植え、草とりをしたり、かちたりして一生けん命はたらいたので、もちほどもおいしいです。

わたしは、このような特色をいつまでも守り、良い伝統として残していきたいと思います。そして、よい校風をきざくよう、全員が力を合わせ努力していきたいと思っています。



（校長 佐藤雄喜・生徒数52名）

ぼくの学校わたしの学校